



みさきのちややプロジェクト

2002.5-2003.5

所在地 岐阜県美濃市曾代88
岐阜県立森林文化アカデミー地内
建築面積 69.46㎡(21.04坪)
設計・施工 岐阜県立森林文化アカデミー
木造建築スタジオ
神谷 義彦(二期生)
杉本 加代子(二期生)
坂崎 有祐(二期生)
篤田 紋(二期生)
中嶋 章文(二期生)
平田 恵一(二期生)
三澤 文子(教授)
富田 守泰(教授)
小原 勝彦(助手)
辻 充孝(助手)

指導 松森建設
総工事日数 83日
参加総人数 72人(642人工)
総工事費 269万円

岐阜県立森林文化アカデミー 木造建築スタジオ
〒501-3714 岐阜県美濃市曾代88
TEL 0575-35-3889/FAX 0575-35-3890
Mail studio@forest.ac.jp/URL www.forest.ac.jp

地域社会に対応した木の空間

「みさきのちゃや」の主用途は、地域の子供たちを対象にした“環境教育プログラムキャンプ”における屋外厨房としての機能である。日本の多くの屋外厨房はカレーライスやバーベキューにしか対応していないが、ここでは家庭で行われる炊事に関して全て対応できるようになっている。未来を担う子供たちがこの「みさきのちゃや」で何かを感じてくれるとうれしく思う。

(みさきのちゃやのかまどは、煮炊きができるのはもちろんオープン機能や輻射熱暖房“ペチカ”の機能を併せ持っている)



2002.06.18 学内講評会



2002.06.28 測量



2002.08.02 掘り方5日



2002.08.06 木材管理



2002.08.29 刻み(於 中津川木匠塾)



2002.10.02 建て方(中津川木匠塾との協同)



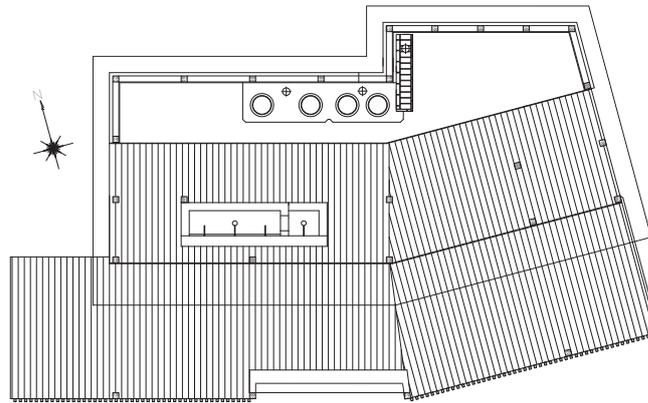
2003.04.02 かまど工事



みさきのちゃや全景



みさきのちゃや(かまど)使用の様子



平面図 1/300

① 地域の木材、森林の保全

この「みさきのちゃや」は、2002年の大雪で発生した岐阜県内の雪害木を利用して建てられている。その雪害木はアカデミー学生が製材・乾燥及び木材品質管理(含水率・ヤング係数測定)を行った。使用されている全ての原木の出所がはっきりしており、その原木から製材された木材がどの部材に使用されているかまで追跡をしている。使用材積はおよそ15m³である。

② 建築技術の継承

この「みさきのちゃや」における木材の加工は全て手刻みである。アカデミーにおいて製材され品質をチェックされた木材は中津川に運ばれ、職業能力開発校 木匠塾の塾生との協働により刻みが行われた。また建て方も彼ら塾生と共に行われている。中津川 木匠塾は大工の養成を行っており、このプロジェクトでアカデミーと協働することにより実際に刻み・建て方を行うことができ、大工技術の継承にも貢献できているのではないかとと思われる。



みさきのちゃや ペチカから水場を見る